

平成25年2月28日

各報道機関文教担当記者 殿

## 3/4 テニュアトラック普及・定着事業 シンポジウムで若手研究者が研究成果発表

金沢大学では、文部科学省科学技術人材育成費補助金「テニュアトラック普及・定着事業」の一環として、金沢大学テニュアトラック制度シンポジウムを開催し、若手研究者が研究成果を発表します。

本学ではテニュアトラック制度を優秀な人材を確保するための手段であるとともに、透明性の高い人事システムと位置付け、積極的に導入をすすめています。さらに、全学的な研究支援組織である先端科学イノベーション推進研究センターによる若手研究者支援を充実させています。

**金沢大学テニュアトラック制度シンポジウム** ～2012年度若手研究者の研究成果発表会～

(1) 日 時 : 平成25年3月4日(月) 14時00分～17時30分

(2) 場 所 : 金沢大学自然科学大講義棟レクチャーホール(角間キャンパス)

特に理工研究域においては、新規採用若手研究者を自立して研究できる環境のもとで自立した研究者として育成するため、テニュアトラック制を導入し、研究リーダーとなる若手研究者の育成と研究活動の活性化を促進しています。

つきましては、事前報道及び当日の取材について、よろしくお願いたします。

<お問い合わせ先>

理工系事務部総務課総務係 川端

Tel : 076-234-6842

<担当>

広報戦略室 松本

Tel : 076-264-5024

金沢大学

2012年度若手研究者の研究成果発表会

# テニュアトラック制度 シンポジウム

2013年

3月4日(月)  
14:00~17:30

参加無料  
事前申込み不要

金沢大学角間キャンパス  
(石川県金沢市角間町)  
自然科学大講義棟1階レクチャーホール

プログラム(詳細は裏面をご覧ください。)

開会挨拶 金沢大学長 中村信一

来賓挨拶 文部科学省科学技術・学術政策局(調整中)

事業紹介 金沢大学理事 山崎光悦

TT教員及び共同研究者による研究成果発表

閉会挨拶 金沢大学理工研究域長 福森義宏

## 会場案内

金沢駅から角間キャンパスまでのアクセス  
(北陸鉄道バス利用の場合)

【バス停】  
金沢駅東口6番乗り場発  
91(平日のみ)・93・94・97  
「金沢大学」行きに乗車し約35分  
「金沢大学自然研前」下車

金沢大学角間キャンパスマップ



金沢大学

# テニュアトラック制度シンポジウム

～2012年度若手研究者の研究成果発表会～

## PROGRAM

14:00～14:10 開会挨拶 金沢大学長 中村信一

14:10～14:20 来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局(調整中)

14:20～14:35 事業紹介 金沢大学理事 山崎光悦

休憩(14:35～14:45)

### TT教員及び共同研究者による研究成果発表

14:45～15:05 石島達夫 准教授  
(金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター)  
『重相構造プラズマを利用した新規の低環境負荷プロセスの開発』

15:05～15:25 Eugen Stamate  
(DTU Energy Conversion, Department of Energy Conversion and Storage, Technical University of Denmark)  
『Plasma processing technologies for sustainable energy conversion and storage』

15:25～15:45 當摩哲也 准教授  
(金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター)  
『分子配向・結晶性の制御による低分子系有機薄膜太陽電池の高性能化』

休憩(15:45～15:55)

15:55～16:15 紺野宏記 准教授  
(金沢大学理工研究域バイオAFM先端研究センター)  
『高速AFMを活用した生体機能の動的分子プロセスの解明』

16:15～16:35 Boris Feniouk  
(Associate Dean for Research, School of Bioengineering and Bioinformatics Moscow State University)  
『Regulatory mechanisms of bacterial ATP synthase』

16:35～16:55 河野孝昭 助教  
(金沢大学理工研究域サステナブルエネルギー研究センター)  
『建築物屋上における小形風車設置高さの風条件の数値流体解析』

16:55～17:15 Robert McKibbin  
(Inst. of Information and Mathematical Science, Massey University, New Zealand)  
『Mathematical modeling of some heat and mass transport processes in geothermal systems』

17:15～17:25 閉会挨拶 金沢大学理工研究域長 福森義宏